

主な認証方法の比較

認証方法	セキュリティ	コスト	認証の簡便さ
携帯やトークンを用いた認証サービス(ソフトバンク・KDDI)	○	○	○
顔写真パスワード入力(二電子)	○	○	◎
生体認証(富士通・日立など)	◎	△	◎
英数字のパスワード入力	△	◎	◎

(注)米国家标准技術研究所(NIST)の「電子認証のセキュリティ」(NRI作成)と、ネットに公開されている「生体認証のセキュリティ」(NRI作成)を参考に、本誌編集部が独自に調査した結果を示す。

ATMでの預金引き出し、ウェブサイトで買い物。本人確認の際、当たり前のように入力する四ケタのパスワード。この「鍵」の形が変わってきた。指紋などを使っ生体認証に加え、携帯電話を鍵に利用したり、覚えやすい思い出の写真を並べて本人確認したりするサービスもある。企業はニーズに合ったセキュリティ対策法を選べるようになってきた。

ソフトバンクは九月、携帯電話を使った認証サービス「シンクロック」を始めた。グループ企業のソフトバンクBBが運で入力して送信する。ウェブサーバー「ム」と呼ぶ利用者識別の個人ページなどにログ番号を事前に登録しておく。インする際に、パソコン画面に表示される四ケタの数字を手元の携帯電話で確認し、本人かどうか確認する。ソフトバンク以外の携帯電話事業者の端末でも利用できる。料金は利用者千人の場合、一人につき初期費用二千元、月額約百二十円だ。

ソフトバンクBBはまず日本ビュレット・パッドカード(HIP)と提携し、HIPの認証サービスに対応製品群にこの技術を使

## 本人認証の手法多様化

# 精度の生体

# 携帯は簡便

### コスト高でも「安心」買う



ソフトバンクのシンクロック画面(写真上)。KDDIは位置情報を使い機能の利用を制限する。

## 4ケタ数字打ち送信 GPS 使い場所限定

企業は認証方法をどう選ぶべきか。セキュリティが重要で、コストも抑えたい。目的や用途によって最適な方法を見つけていく。守るべきデータの重要性に応じて手法の選択が必要だ。導入する企業のコストと認証強度、一般利便者の利便性などそれぞれ異なる。長所・短所を見極め、効果的に組み合わせることで、個人が利用できる便利なサービスも始まった。

「セキュリティレベル」とコスト、認証の簡便さが主なる評価軸になり、目的や用途によって最適な方法を見つけていく。守るべきデータの重要性に応じて手法の選択が必要だ。導入する企業のコストと認証強度、一般利便者の利便性などそれぞれ異なる。長所・短所を見極め、効果的に組み合わせることで、個人が利用できる便利なサービスも始まった。

組み込む。電子商取引(E-commerce)サイトでの本人認証に活用する場合、自宅のパソコンやオンラインバンキングなど、周囲数百メートル以内での利用に限定でき、他者の不正アクセス防止に役立つ。携帯電話事業者は認証技術の普及に、一度の本人認証のポータル(玄関)を確認で複数のサイトなどにアクセスできる「認証プラットフォーム」サービスは、より幅広いサービスが利用できる。国内を飛ばすには、携帯に約一億台が出回る端末に、パスワードに工夫を凝らす認証サービスもある。認証ソフト開発の二一モニックセキュリティ(大阪府、国米仁社長)が提供する「二一モニック認証」サービスだ。多数の画像の中から鍵となる画像を選んで本人確認する。思い出の写真やイラストを登録できるので、数字よりも覚えやすいのが特徴。高齢者にも便利で、適用範囲が広い。池田銀行が大阪市の富裕層向けのプライベートバンキングサロンで利用しており、九月にはスマートフォン向けのサービスも始まった。



二一モニックは、英数字の代わりに思い出の写真やイラストを登録して認証する

### 選択のポイントとは?

## 長・短所見極め重要 情報漏洩には注意を

「セキュリティレベル」とコスト、認証の簡便さが主なる評価軸になり、目的や用途によって最適な方法を見つけていく。守るべきデータの重要性に応じて手法の選択が必要だ。導入する企業のコストと認証強度、一般利便者の利便性などそれぞれ異なる。長所・短所を見極め、効果的に組み合わせることで、個人が利用できる便利なサービスも始まった。

(聞き手は細川幸太郎)